

在宅介護・地域包括支援センターによる介護サービス未利用者の定期的な実態把握

1 経緯・目的

平成27年10月の総合事業の開始以降、介護サービス未利用のため要介護認定の更新申請をせずに有効期間満了した方の中で、改めて新規申請した際に前回より重症化しているケースが見られた。介護サービス未利用者の定期的な実態把握を行うことで、早期に必要な支援を行い、重症化予防につなげる。

2 調査期間

平成31年4月から令和2年3月まで

3 調査対象者及び調査時期

前回の介護度が要支援1・2の介護サービス未利用者。令和元年5月末から令和2年4月末に要介護認定の有効期間満了を迎える更新時に、更新申請を行わなかった者に対し在宅介護・地域包括支援センター職員が訪問または電話にて実態把握を行った。

調査対象者	更新申請	実態調査実施
359人	243人 (67.7%)	112人 (31.2%)

※実態調査対象外4人

(内訳：死亡2人、転居1人、在留資格喪失1人)



4 調査項目及び調査結果

	質問項目	はい	いいえ	未回答
1	この1年間の体調変化がありましたか	28 (25.0%)	83 (74.1%)	1 (0.9%)
2	身の回りのことをご自身でできますか	110 (98.2%)	2 (0.2%)	0
3	世帯構成	ひとり 29 (25.9%)	高齢者のみ 39 (34.8%)	その他 44 (39.3%)
4	生活のお手伝いをしてくれる人はいますか	96 (85.7%)	16 (14.3%)	0
5	15分くらい続けて歩いていますか	94 (83.9%)	18 (16.1%)	0
6	週に1回以上は外出していますか	107 (95.5%)	5 (4.5%)	0
7	普段就労や介護予防事業等に参加していますか	57 (50.9%)	55 (49.1%)	0
<p>■ 「はい」の内訳 (重複回答あり)</p> <p>就労5人 (4.4%) コミュニティセンターでの活動9人 (8.0%) いきいきサロン7 (6.3%) テンミリオンハウス4人 (3.6%) 地域健康クラブ4人 (3.6%) 不老体操2人 (1.8%) 高齢者総合センター各種講座9人 (8.0%) 保健センター各種事業2人 (1.8%) 総合体育館各種講座3人 (2.7%) 民間のスポーツクラブ6人 (5.4%) その他31人 (27.7%)</p> <p>※その他内訳：カルチャースクールのコーラス、ボランティア、自治会館の趣味活動等</p>				

8	体調不良時や災害時に助けてくれる人はいますか	109 (97.3%)	3 (2.7%)	0
9	かかりつけ医はいますか	106 (94.6%)	5 (4.5%)	1 (0.9%)

5 次回の訪問時期

区分	訪問時期	人数 (割合)
A	1か月後	0
B	3か月後	6 (5.4%)
C	6か月後	8 (7.1%)
D	1年後	38 (33.9%)
E	実態把握終了	60 (53.6%)

6 訪問時の対応

- ・訪問時、101人の調査対象者に「在宅介護・地域包括支援センターの連絡先」を周知した。
- ・サービスの利用要件に該当する方38人には「レスキューヘルパー（高齢者緊急訪問介護）事業」、30人には「高齢者安心コール事業」の案内を行った。

7 実態調査後新規申請状況・認定結果（別紙参照）

新規申請者数 12人（実態調査実施者のうち10.7%）

介護度	人数	調査対象者 内の割合	新規申請者 内の割合
事業対象者	1	0.3%	8.3%
要支援1	0	0	0
要支援2	1	0.3%	8.3%
再掲	要介護1	5	41.7%
	状態不安定	(2)	(16.7%)
	認知機能低下	(3)	(25.0%)
要介護2	2	16.7%	16.7%
要介護3	1	8.3%	8.3%
要介護4	2	16.7%	16.7%
計	12	3.3%	100%